

共催：株式会社ビジネスソフト社 ・ 株式会社ミロク情報サービス

中小企業のための情報セキュリティ対策セミナー

情報セキュリティ対策は大企業だけではない！

中小企業の情報資産は"多層防御"で守れ！

参加
無料

平成29年5月30日からの改正個人情報保護法の全面施行により、
中小企業をはじめとするすべての事業者が「個人情報保護法」の適用対象となります。
事業者は個人情報を保護するために安全管理措置を講ずる必要があるため、あらためてセキュリティ対策が注目されています。

■日時 平成**29**年**6**月**13**日（火） **13:30~15:00**（受付13:00~）

■会場 **株式会社ビジネスソフト社** 広島県福山市吉津町5番8号 3階セミナー会場

昨今、ITの飛躍的な進歩によって、私たちの身近ではITが必要不可欠な時代になりました。中小企業においてもITを使用した業務は不可欠である一方、様々な角度から攻撃してくるサイバー攻撃が後を絶ちません。不正なアクセスやウイルス感染により、自社のみならず他社にも損害を与えるケースも数多く報告されています。また、情報漏洩は外部からではなく、内部の管理ミスで原因であることも統計が出ております。IT環境の変化に伴い、脅威やリスクも変化いたします。

本セミナーでは、情報セキュリティ対策について、中小企業でも最低限対策すべきポイントを説明いたします。いま一度、自社の情報セキュリティにおいて、改善すべきポイントがないか確認頂きたく存じます。

- セミナー内容
- ・中小企業を取り巻くセキュリティ事情
 - ・セキュリティ被害の具体例
 - ・ランサムウェアへの予防的対策
 - ・多層防御とは？
 - ・セキュリティ対策事例 等

■講師 株式会社ミロク情報サービス

ご参加は無料です。

下記申込書をFAX送付のうえ、お気軽にご参加ください。

■会場アクセス



セミナー参加申込書

申込書送信先FAX:084-923-7647

貴社名			
ご住所	〒		
ふりがな	姓)	名)	役職 部署名
ご参加者名			
E-mail			
TEL		FAX	

----- ご記入いただく情報について -----ご記入いただくお客様の個人情報は、当イベントの受付にあたり名簿作成を行いお客様への対応をする上で必要なものです。お申し込みいただいた個人情報につきましては、セミナー講師、協賛各社および業務委託先へ提供する場合があります。また、お預かりした情報は、今後の各種イベント、セミナーのご案内や当社および協賛各社からの製品情報のご案内に、利用させていただくことがあります。ご案内が不要なお客様は、当社にご連絡をいただければ電子メール、DMなどの送信発送を中止いたします。当社では、記入していただいた情報を当社個人情報保護方針に則り適切に管理し、お客様の承諾なく上記以外の第三者に開示・提供することはありません。

セキュリティに関する最新情報

このほど独立行政法人情報処理推進機構（以下IPA）が作成した「情報セキュリティ10大脅威2017」をご紹介します。

これはIPAが、各企業・組織の研修やセキュリティ教育等に活用され、セキュリティ対策の普及の一助となることを期待し、作成したものです。

情報セキュリティ10大脅威2017

「個人」向け脅威	順位	「組織」向け脅威
インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用	1	標的型攻撃による情報流出
ランサムウェアによる被害	2	ランサムウェアによる被害
スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃	3	ウェブサービスからの個人情報の搾取
ウェブサービスへの不正ログイン	4	サービス妨害攻撃によるサービスの停止
ワンクリック請求等の不当請求	5	内部不正による情報漏えいとそれに伴う業務停止
ウェブサービスからの個人情報の窃取	6	ウェブサイトの改ざん
ネット上の誹謗・中傷	7	ウェブサービスへの不正ログイン
情報モラル欠如に伴う犯罪の低年齢化	8	IoT機器の脆弱性の顕在化
インターネット上のサービスを悪用した攻撃	9	攻撃のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）
IoT機器の不適切な管理	10	インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用

【1位】 標的型攻撃による情報流出

- メールによるウイルス感染等により組織内部に侵入
 - 組織の機密情報が流出
 - 取引先や関連会社を踏み台にして本丸を狙うことも
- 2016年の事例/傾向
- ☑旅行会社JTBから678万件の個人情報が流出
 - ・取引先になりすましたメールの添付ファイルを開き、ウイルスに感染
 - ・遠隔操作により個人情報を保管しているサーバーへと侵害が拡大
 - ☑富山大学、標的型攻撃により研究成果等が外部流出
 - ・個人情報や原発の汚染水処理に関する研究成果などが外部流出
 - ・非常勤の研究者のPCがウイルスに感染したことが原因

【2位】 ランサムウェアによる被害

- ランサムウェアにより、PC内のファイルが暗号化され、ファイルの復元に身代金を要求
- 2016年はランサムウェアの被害が急増している

【3位】 ウェブサービスからの個人情報の搾取

- ウェブサービスから個人情報が搾取される事件が多発
 - ウェブサービスの脆弱性を悪用
- 2016年の事例/傾向
- ☑日本テレビのウェブサイト不正アクセス
 - ・最大43万件の個人情報が漏えいした可能性
 - ☑栄光ゼミナールのウェブサイト不正アクセス
 - ・生徒と保護者の個人情報が2,761件漏えい

上記は、IPAの「10大脅威の引用について」に基づき「情報セキュリティ10大脅威2017」から引用・抜粋したものです。

【出典】独立行政法人情報処理推進機構（IPA）「情報セキュリティ10大脅威2017」

URL:<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2017.html>